

ひろば大代

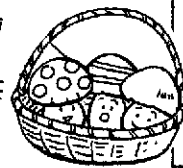
NO.315

大代公民館

H17.10.23

新大田市誕生！

館長 竹島 修



この度10月1日の合併により、新しく新大田市が誕生しました。

それに伴い、大田市公民館連絡協議会は仁摩町、温泉津町の8つの公民館が加わり、27地区の大田市公民館連絡協議会になりました。

大代公民館も職員・公民館運営委員共に9月末を以って任期満了で、新しく10月1日付けで再任となり、始動いたしました。

多くの方々に助けて頂きながら、館長を務めて半年が過ぎました。これから、3月末までの任期を一生懸命頑張りたいと思いますので、公民館活動に更なるご理解とご協力をよろしくお願い致します。

やったぜ！赤組総合優勝！

赤組 大場清志

9月25日、赤組の参加者全員が今年の優勝を誓い合おう中、第55回町民運動会の幕は切って落とされた。

去年は、各賞を総なめにしながら、涙を飲んでの準優勝、今年こそはと参加者の気持ちも高ぶる。各競技を終えるごとに、上位に入りまます順調なすべり出し。午前中の部で、総合一位、これなら行ける。皆んなの確信の元、午後の競技に移る。郵便局杯玉入れ、農協杯争奪男子綱引き等々。

その中でも、綱引きは悪戦苦闘、一回戦は、なんなく勝利。近年の赤組男子の綱引きは強い。今回も楽勝のはずであった。戦いを続けるうち白組との決勝を迎える。今年の白組はちよつと違う。強い。なんだろう？もしかしたら負けるかも？いや勝てるかな？不安のまじる気持ちの中、戦いのピストルが鳴る。ヨイショ、ヨイショ、ヨイショ、ヨイショ、ヨイショ、あれ！引つ張れない。

一回目負け、強い！

その後、引き分けをはさみ、対戦成績一対一で迎えた四回目、もう、へとへと、気力も残っていない。精も魂も



尽き果てたとは、この事か。神のみぞ知る勝利の行方は…。結果は赤の勝利。くたびれた。年代別リレーも、男女共上位に終り

結果は、総合優勝！



大会後の祝勝会は最高に盛り上り、連覇を誓い合いながら、喜びの美酒に、酔いしれた一日であった。

ありがとうございました。そしてまた会いましょう運動会で。



田植囃子を通して

中三 上飯谷 武田愛美

今まで三年間を通して、田植囃子の公演や練習と、私は感じる事がたくさんありました。昔から受け継がれてきた伝統ある田植囃子を私ができることを、本当にほこりに思います。



敬老会にて

自信を持ってないこともたくさんありましたが、十七夜公演や敬老会での披露と地域の方々やお年寄りの方に喜んでもらえたと思うと、本当に嬉しく思います。今まで続いてきたこの田植囃

子を、これからも絶やさずにつつと守りつづけてほしいと思います。

高山草刈登山日記

八反田 中垣昌人

「今年で何回目だろうか？」

そんなことを考えながら長男一真(短大2年)次女七美(小4)と共に10月9日、朝8時、山田集会所に集合した。

毎年なるべくこの会には参加するよりに心がけている。本音を言えば11月の文化の日に登れば楽で良いのだが、祝祭日休みのない仕事なのでなかなかそうもいかない。幸い今年は一真の都合がついて登ってくれるし、なんと七美まで登山したいとのこと、家族が3人も一緒なのは初めてだから楽しみが増えた感じだ。

心配していた前日までの雨も上がり、爽やかな秋晴れのもと草刈機片手に山田側登山道入口よりスタートした。

今年是天候に恵まれたこともあり参加者が多いようで、賑やかに刈りながら頂上を目指す。思っていたよりは草

も少なく、機械が多いことも手伝って
順調かつ丹念な作業ができた。これな
ら高山登山に訪れた方々に気持ちよく
登って頂けることであろう。

少し肌寒かった朝の空気も次第に汗
ばむ陽気となり、中腹の看板でアケビ
片手に一休み。「看板ってこんなに遠か
った？」誰かが漏らす。「看板が遠くな
ったんじゃないくて、自分が年取ったか
らだよ。」その答えに思わずうなずいて
しまう。



草刈機と胃袋に液体燃料を補充し笑
っている膝を伸ばして再スタート。途
中登山客に追い越されながら「ご苦労
様です。」と声をかけられる。「イヤー、
毎年のことで慣れてますから。」などと
やせ我慢の軽口をたたきながら大汗を
拭く。

やっとこさ山田側頂上に到着した頃
にはもう11時になっていた。少し丁寧
すぎたかな？「リユックを軽くしてく
れ。」と言うリクエストにお答えして飲
み物をのどに流し込み、江津方面の壯
観な景色に目を奪われる暇もなくすぐ
に最高峰を目指す。

まさに馬の背の名にふさわしい尾根
の稜線を歩きながら両側絶壁のスリル
も楽しむ。一真はずっと私につかず離
れず刈った草を横に払いながら重いリ
ユックで荷物運びをしてくれた。七美
はといえば身の軽さゆえにさっさと先
に行ってしまった。最後の急勾配を登
りきればついに808メートルの頂だ。
予定よりは時間がかかったのだろう
が、最高齢(78歳)の藤井先生から最年
少(小2)の泉幸輔君までみんな揃って
しばし昼食とその絶景を賞味する。少

しもやががかり三瓶山より遠東はかす
んでしまいい残念ではあったが十分満足



はい！記念撮影！

である。

「記念撮影！」の声に丸太製の腰掛の
上に立ち上がった途端につっかい棒が
外れ、真後ろにすってんころりんのオ
マケもついたが無事撮影終了。

七美は元来た山田に向かって下山を

始めたが、私と一真は例年のように一
 気に飯谷側を下り落ちてゆく。時間は
 短いが体にはこたえる急斜面だ。慎重
 に歩を進める息子を尻目に私は酔いに
 任せて(?) 20分程で下山してしまつた。
 重くなつた体を老いた足腰が支えきれ
 なかった、と言うのが正しいのだろう。
 次の日の仕事のこととも考えず子供の
 前で張り切りすぎた感もあるが、実に
 楽しい草刈登山だつた。今回は3人の
 子みんな一緒に登りたいな。
 そうだ。「今年でまだ4回目だ。」やつ
 と答えが出た。

||十七年度 秋季全国火災予防運動||

分団長辞令を受けて

大代分団長 坂本静雄



仲秋の候 町民の皆様におかれまし
 ては、ますますご健勝のこととお喜び
 申し上げます。日頃の皆様方の消防団
 活動に対し、御理解、御協力に深く感
 謝申し上げます。

このたび九月末をもつて、井谷分団
 長が退団されました。長い間消防団活
 動、ご苦勞様でした。敬意を表します。
 その後役員改選で、分団の推薦を受け
 十月一日、大田消防署で分団長の辞令
 を受けた所であります。

大代分団は大田市の中でも伝統の有
 る分団で、大変重く受け止めている所
 です。先輩の築かれた栄光をしっかりと
 と受け継ぎ、地域防災に団員一丸とな
 って、使命達成の為、頑張つて行く所
 存でございますので宜しくお願い申し
 上げます。

さて恒例の秋季全国火災予防運動が、
 来る十一月九日より十一月十五日まで
 七日間全国一斉に実施されます。

《あなたです、火のあるくらしの
 見はり役》

を統一標語にかかげ、火災による痛ま
 しい死傷者の撲滅を目ざして、安全で
 住みやすい町づくり実現の為実施され

るものです。

これから、次第に寒さに向かいスト
 ーブ等で火災の発生しやすい時期とな
 ります。火災予防に努めて下さいませ
 様お願い致します。

最後になりましたが、新役員を紹介
 致します。

||新役員||

分団長 坂本静雄
 副分団長 笠井節夫
 部長 横 明完

一班班長 長谷和孝(副) 茶円武志
 二班班長 鈺 政雄(副) 岡田郁男
 三班班長 和田 積(副) 鈺 康範
 四班班長 武田 穰(副) 斎藤和憲

||俳句||

あすなる句会



大田 原田萬里

秋若荷心も添へて貰ひけり
 雲に入り雲に出たり望の月

植松 渡 あやこ

里道は終りなき道野紺菊
ポンと抜く葡萄酒の栓秋深し

柿田 横手いちえ

鈴虫の残る余命を鳴きあかす
吹く風にまかせまかせて秋桜

八反田 森 信子

仲秋やのれんを替へて友偲ぶ
連れだちて話は弾む野菊晴

椿 花田時子

運動会みどり児あづけ出番待つ
母子して辿る小径や野菊晴

下市 今田文字

秋高し放牧牛は反芻す
畦草の伸び放題に野菊濃し

川上 岩田律枝

荒畑に野菊一叢盛りなり
甘柿の色浮きたたす夕餉かな

本郷 和田喜和子

青空へ伸び伸びしておる泡立草
秋茄子や辛子和えにし食すすむ

椿 柿丸寿枝

野紺菊翅音かぼそく消えにけり
秋晴やくす玉割られ合併す

11月行事予定

▼3日(木) 秋の大江高山登山

山田集会所前 8時30分集合

▼5日(土) 石見銀山フォーラム

公民館にて午後1時からどなたでも

講師 石見銀山資料館

学芸員 仲野義文氏

▼5日(土) あすなる俳句会

▼13日(日) 東京石見高山会総会

▼13日(日) 福祉弁当

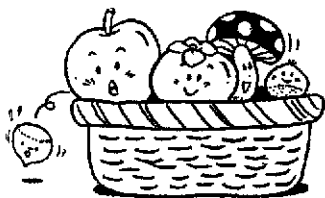
▼15日(火) さくらんぼ教室

▼20日(日) 大代町文化祭

午前10時から午後3時まで

大代小学校にて

▼23日(水) 連合自治会



〓 お知らせ 〓

◎大代地区社会福祉協議会から

川上 鈺 敏幸様より

下飯谷 有田敏幸様より

香典返しにかえ、金一封の御厚志を
頂き、厚くお礼申し上げます。

〓 編集後記 〓

十月一日、大田市・温泉津町・仁摩
町の一市二町が合併し、新「大田市」
が誕生しました。

先だって石見銀山遺跡が世界遺産に
推薦されたことと合わせて、「大田市」
は新しい顔を見せ始めています。

私達の「大代町」は人口五六六人と、
大田市の総人口四一、七二八人の一、
四%にも満たない小さな町ですが、大
江高山の懐に抱かれた美しい自然と人
情の結びついたふるさとです。

みんなが何でも言い易く、いつでも
力を合わせていける住み良いふるさと
として、これからも過ごしていきたい
ものです。

《頑張ろうぜ。大代町》

(w)